

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月19日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101904		
法人名	衛検産業 株式会社		
事業所名	グループホーム ハイジの丘	ユニット名	下市
所在地	〒310-0844 茨城県水戸市住吉町302-1		
自己評価作成日	平成23年7月20日	評価結果 市町村受理日	平成24年3月19日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年9月9日	評価確定日	平成24年2月8日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私達は、地域を大切にしています。町内会にも加入しているので地域のお祭りに呼んでいただいたりしています。近くの小学校の運動会の時には、歩いて学校まで行き子供達が走る姿を応援してお茶を頂いたりしています。校長先生にも声を掛けて頂いたりします。春は暖かい時間を見てお花見に車で出掛けて「お花見」に出掛けます。去年は桜を観に福島県方面へ全員で1泊旅行へも出掛けました。皆で入った温泉はとっても気持ち良かったです。（今年は地震の為に中止になりました）夏は、地元の夏祭りに呼んで頂いています。秋は敬老会を開催し地元の方が手品・フラダンス・民舞（市民センターの所長さん）・ガールスカウトの訪問等があります。冬は忘年会を開催します。毎年、年の暮れに町内の青年部の方がいらして「蕎麦打ち」を行います。利用者さんも一緒に行きます。とっても上手な方もいらして青年部の方もびっくりしてしまう程です。皆で食べるお蕎麦（鴨汁）を毎年楽しみにしています。施設の庭には畑もあり四季を感じる事が出来ます。利用者さんと畑を耕し種を蒔き収穫しています。もちろん収穫した野菜は皆さんで食べます。今年はスイカと南瓜も植えました。職員の家族が藁を敷いたりして手を掛けて下さいます。そして、全員毎日入浴をし汗を流しています。たまに入浴剤を入れて温泉気分を味わう時もあります。現在の利用者さんは寝たきりの方もいません。リハパンを履いている方もいらっしゃいません。たとえリハパンをはいて入所してきてもトイレ誘導をして普通のパンツをはいていただいています。幾つになるまでも、人が人らしく一人ひとりが快適な暮らしができるように支援しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ボランティアによるフラダンスやシルバーリハビリ体操、青年会による蕎麦打ち、ガールスカウトによる清掃、養護学校生の実習を受け入れているほか、利用者は小学校の運動会や神社の祭りに参加しており、職員は利用者が地域とつながりを持ちながら暮らせるように支援をしている。地域の人々からブルーベリーや花、野菜などのお裾分けがあるほか、利用者は散歩時に缶拾いなどの清掃活動をしたり近隣住民と挨拶を交わすなど、地域の一員として暮らしている。食事が楽しみなものとなるよう外食を取り入れたり、自家菜園の収穫物や地域の人々から頂いた野菜を活用して「男や女の料理講座」を利用者を対象に開催しているほか、クッキーや蒸しパン、よもぎ団子、ケーキなどのおやつ作りが楽しめるように支援をしている。利用者はできる範囲で食事の味付けや配膳、下膳などを担っており、利用者と職員との関係は穏やかで互いに感謝の言葉が聞こえている。利用者一人ひとりの排泄パターンに合わせた「トイレ誘導時間表」を作成し、決まった時間にトイレ誘導することで夜間もおむつを使用しないで生活ができるように支援をしている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、夜勤者と日勤者の引継ぎの際「理念」を唱えます。毎日、理念を唱える事で管理者と職員一人一人が共有し同じ目的を持ちより良い介護を提供する事が出来ると考えております。	「地域福祉向上と仁愛を基本精神として、利用者お一人おひとりが住み慣れた地域で、人々と同じ生活水準を衛り、健康を検べながら快適な暮らしを創造することが出来るよう、強く支援します」との理念を重要事項説明書やパンフレットに明記するとともに、事務室に掲示している。 職員は毎日の引継ぎ時や必要に応じて理念を確認し、利用者が地域の中で自立した生活ができるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	私達は、町内会に入会しております。お祭り等に参加したり、小学校の運動会等にも皆さんと一緒に参加しテントの下でお茶を頂いたり子供達の走る姿を応援しています。毎朝の散歩道でゴミ拾い等も行い少しでも地域の役にたつように行っております。	ボランティアによるフラダンスやリハビリ体操、青年会による蕎麦打ち、ガールスカウトによる清掃、養護学校生の実習を受け入れている。 利用者は小学校の運動会や神社の祭りに参加しているほか、散歩時に地域の人々と挨拶を交わしている。 近隣住民から果物や野菜、花のお裾分けがあるなど、地域とつながりを持ちながら生活ができるように支援をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の民生委員の方々が「地域運営委員」になって頂いているので時々相談などに乗って頂いたりして助かっております。そして、近隣の学校からも「職場体験」等を経験しにくる生徒さんを受け入れております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月置きに「地域運営委員会」を開催しております。開催時に毎日行った事等を報告させて頂いておりそこで委員の方々に貴重な意見等を頂きサービスの向上になるように生かしております。	運営推進会議は家族等の代表や市職員、地域包括支援センター職員、自治会の代表、民生委員、学校長、リハビリ体操支部長を委員とし2ヶ月に1回開催している。 会議ではサービスの現状や行事、防災訓練、おやつ作りなど事業所の取り組み、インフルエンザ対策などについて報告するとともに、会議で出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 会議録を作成し、欠席した委員に報告している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	水戸市の職員の2名が「地域運営委員会」に参加して頂いております。日ごろから市役所の方々と連絡も密にとり相談等にも乗っていただいております。	市担当者が運営推進会議に出席しているほか、市担当者や生活保護担当者から情報提供を受けている。 管理者は市担当者に利用状況を報告したり事業所の課題を相談し、連絡を密に取って協力関係を築くよう取り組んでいる。 介護相談員を受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内には「身体拘束をしないケア」の参考資料等を完備しております。その書類を目に見える所へ置き職員が共有できるようにしております。毎月行っている「カンファレンス」でも「身体拘束をしないケア」についても職員と管理者が話し合っております。	事務室に身体拘束廃止に向けたポスターを掲示するとともに、職員は日々身体拘束をしないケアについて話し合い、実践に努めている。 緊急やむを得ない場合を除き身体拘束は行わないことを契約時に利用者や家族等に説明し、玄関の施錠を含め身体拘束をしないケアに努めている。 職員見守りのもと利用者は散歩に出かけたり自家菜園の野菜を収穫しており、職員は利用者が自由な暮らしができるよう支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の中では1ヶ月に1度、研修会等に参加しております。そこで学んだ事を参加出来なかった職員に資料等を提供し勉強会等を開いております。そして新しく入所した職員には特に念入りしております。職員が利用者さん同士でのイジメ等も起こらないように注意しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	人は人として生きていかななくてはなりません。人間として人権を皆さんが持っているのをそれらを尊重しあい生活しています。そして、私達は利用者さん達を日常生活が少しでも自立出来るように手を差し伸べています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者さんにご家族との契約の際には、契約内容を説明しご一読頂きその後に契約を結んでおります。その際、不安点・疑問点等に細かく説明させて頂いております。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関の入り口に「意見箱」を設置させて頂き、皆さんの意見があった時には反映させて頂いております。今年度は家族会を設立しました。利用者さんの家族同士が意見を交換しあい介護の向上を目指しております。	家族等の来訪時や電話連絡時、運営推進会議、家族会等で利用者や家族等の要望や意見を聴き、運営に反映させている。 家族等の意見が出易くなるように広報誌を毎月発行し利用者の様子を報告しているが、アンケートを実施するまでには至っていない。	意見等を出し難い家族等に配慮して、意見や不満、苦情等を汲みあげるためにアンケートを実施し、出た意見等を運営に反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度カンファレンスを開いております。その際に職員さんから意見・提案等を聞き運営に反映させており。そして2ヶ月に1度開催する「運営会議」にケアマネさんが出席しているので意見・議案を聞いております。	管理者は年3回から4回実施している職員との食事会や毎月開催している全体会議で職員の意見等を聞いており、夜勤者1名だった体制を見直して宿直者を1名増員するなど、職員から出た意見等を運営に反映させるとともに、働き易い職場の環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	家庭環境が全員違うのでそれに合わせて仕事を続けて頂いています。今回は緊急入院する職員さんが出ました。そこで職員全員でフォローをし乗り切り感謝しております。就業環境の整備として勤務した年から1年経過した時には時給UP等、資格取得した月から資格手当の支給を行っております。各自が「やりがい」そして「向上心」を持って働ける職場作りを目指しております。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講習会・研修等が開催される時には参加しております。参加出来ない職員さんには資料を「回覧」で回しております。1ヶ月に1回のカンファレンスの時に同時に勉強会等を開き大切な事は再度勉強しなおしております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	社長・施設長がロータリークラブに所属しております。そこで他の業種の方々と交流を行っております。知り合った方々に同業者もいらっしゃいます。施設内の情報等をお互いに交換しあったり、訪問しております。互いに情報を共有し施設内の向上にも繋がっております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所したばかりの方にはなるべく近くに座り同じ目線で声を掛けたりしております。ご本人に「心配事等がありますか？」等と声を掛けます。自分から子供の話、孫の話等をして安心して頂きご本人の話を引き出すようにしています。今は時間が沢山あるから、やりたかった事を教えて頂きます。一例として今まで編み物をしたかったが時間が無くて出来なかった。今は時間があるので孫とひ孫にお揃いのマフラーを編めて幸せと嬉しそうに微笑んでいる利用者さんの顔を見ると私達も嬉しくなりました。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時にご家族から色々とお話を伺い今までの生活のスタイル等を入所時記録を付けております。その時に現在ご家族が抱えている不安・要望等を聞き耳を傾けて今から始まる関係作りに勤めております。そしてご家族が本音を言える関係作りをしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居にあたり見学をご家族そして本人にもお願いしております。私達のグループホーム入居しなくても一人で生活が出来そうな方、病院の方が良いと思われる方等色々な方がいらっしゃいます。お互いに見極めを最初の段階でしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者さんに、その時その時の季節合った食事のメニュー等を相談したり針仕事を職員が教えて頂いたりしています。そして施設内には畑もあるので畑の先生にもなって頂き暮らしを共有する関係作りを築いています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者さんのご家族には「蕎麦打ち」が好きな方がいらっしゃいます。その方が打ちたてのお蕎麦を持ってきて施設で茹で利用者さん皆さんそして職員にも振舞って下さる方がいらっしゃいます。その他に理容師さんの息さんが2ヶ月に1度利用者さんの髪の毛をカットしに来てくださいます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚ではない住んでいた自宅近くの方が遊びに来てくださったりします。すぐ次の日にエプロンを持って来たりします。話を伺うとご本人がお願いしたと言っていました。自転車まで施設まで遊びに来る方、自分のお散歩コースに施設を通過するようにしてその時に面会に来る方等もいらっしゃいます。	職員は利用者の生活歴やこれまでの馴染みの人や場所との関係を把握している。 家族等や友人、知人、馴染みとなった地域の方々が来訪しており、寛ぎながらゆっくり過ごせるよう支援をしている。 職員は利用者が馴染みの店で外食ができるよう支援をしているほか、利用者の希望を家族等に伝え、理・美容室の継続利用や馴染みの店で買い物ができるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人には個性があります。でも誰とでも仲良く出来るように間に職員が入って利用者さん同士の話を結びつけたりしております。皆で支えあい楽しく生活出来るように支援しております。敬老の日等に友達を連れ「舞」を踊ってくれる方もいらっしゃいます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者さんのお兄さんが自分で育てた「菊」を施設の玄関に飾ってくれたり自家栽培の野菜を届けてくれたりします。その時にご本人の具合を聞いたり現在の状況を伺ったりします。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	皆さんの思い出はそれぞれ違いますが全員の方が家に帰りたい。ただそれだけの様な気がします。今までの暮らしは様々で生活のパターンがあると思います。自分の生活で使用していた家具を持ち込んだり今までの生活を崩さない利用者さん達の笑顔が増えていく事。そして生活にハリが出る事を心がけています。	利用開始時のアセスメントで利用者の希望や意向を確認しているほか、職員は利用者との日々の係わりの中で、表情や言葉から思いの把握に努めている。 年に数回、一人の職員が利用者により一日中付き添って話を聴く取り組みをしており、把握した利用者の思いや意向を記録するとともに会議で検討し、支援に活かしている。 思いや意向の把握が困難な利用者の場合は家族等の来訪時に意見等を聴き、職員で話し合い利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にご家族に今までの生活をお聞きします。得意な事、好きだった事等を生活の中で思い出して頂いて欲しいと思っています。その方を先生にして何かをこちらが教えていただいたりもしています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	たとえば、洗濯物を自分で干せる方、干せない方、干せないけれど畳む事は出来る方、全員が全く違います。でも、「自分の事（出来る事）は自分でしましょう」が口癖で皆さんで頑張っています。施設内には1日の流れがあります。昼間は昼間の生活をして夜間は寝るような普通の生活をしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1ヵ月に1度「カンファレンス」で5～6人選びケアマネさんに計画の作成の為に話し合いを持っています。その中の話し合いで利用者さんに対して困っている事。そして自分でも困っている事等を話し合いをして介護計画にいかしています。スタッフが同じ方向を向き利用者さんがより良い生活が送れるようにしています。	介護計画は計画作成担当者を中心に日々の記録をもとに全体会議で話し合い、利用者や家族等の希望を反映させて作成するとともにモニタリングを行い、設定期間毎に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、現状に即した介護計画に見直すとともに家族等に説明をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	カンファレンスの後に変った事があった時には皆で見る事ができるように「回覧ノート」に記入しスタッフがいたらそこにサインをして頂くようにしています。個人の介護記録を書きそれと同時に気になっている利用者さんの話を聞きスペシャルとして記録を書いております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	季節の行事として春お天気が続いて桜が満開になった時には「今日はお花見に出発」とすぐに実行に移します。来年の5月の頃には利用者さんのご自宅に「お茶摘み」に行く予定です。そして、毎年年末には地元の青年部の方々が「そば打ち」にも来て頂いています。鴨汁で食べるお蕎麦に皆さんで舌づつみして過ごしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設が町内会に入会して社長が班長になった事もありました。お散歩に皆さんで行く時には会った人と挨拶を交わし馴染みの顔も出来ました。途中立ち話をしたりしています。お花を頂いたり、時には果物を散歩途中で頂いたりしています。（庭の柿・庭のいちじく等）そして私達は敬老会等に出席して頂けるように声を掛けています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院受診の時には「家族」と言うのが施設の希望です。皆さんの入所時にお伝えしています。時には不可能な時もあると思いますのでその時にはこちらでお手伝いをさせて頂いています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診は家族等が付き添うこととしているが、利用者の状態に応じて職員が協力医療機関への通院支援をしている。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療を支援している。 受診結果は利用者や家族等に説明するとともに、記録して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活支援の中で心身に異常を認めたとときに看護職員に報告があり早期に医療機関に繋げています。毎日2回バイタルチェックを行い午後の検温で高めの方は入浴前に再検しています。（高血圧の方は入浴前に毎回計ります）水分等のチェック判断を行い事故の防止に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は職員がお見舞いに行きその報告を受けています。その報告で経過情報を得ています。退院受け入れに対しては施設長の指示により管理者と看護師の同伴で入院先に訪問し当方の判断をDr・N・相談員等の医療関係者の判断・意見を基に協議判断の上受け入れの可否を判断しています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の受診が望めないことが多いので病状変化進行についてDrより説明等は家族に伝え協力を得る様にしてはいますが早い段階に家族の協力を得られるように連絡以来を密にしています。事業所で出来る限りを説明して理解と協力を得ています。	「看取りに関する指針」や「重度化対応・終末期ケア対応医療連携及看取り介護加算説明書兼同意書」を作成し、契約時に利用者や家族等に説明している。事業所は看取りや重度化対応の経験はないが、「看取りケアカンファレンス」や「看取り記録」の様式を整備している。今後は利用者の状態の変化に応じて利用者や家族等の希望にそった支援をしたり、同意を得ながら対応していけるよう検討している。ターミナルケアマニュアルは特別養護老人ホームのものを使用しており、事業所独自のマニュアルになっていない。	事業所独自のターミナルケアマニュアルを作成するとともに、全職員に重度化や終末期に向けた対応方針の共有を図るため、研修を実施することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故発生時の初期対応はほぼ全員が得ています。事故発生時にはカンファレンスを臨時に開き検討しています。急変時は施設長判断で救急車対応もひとつの事項としています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回火災訓練を地域・消防の協力を得て行っています。火災・災害に対する国・県が定めている設備を完備してあります。職員の周知徹底を行っています。消防法に基づき「スプリングクレー」も設置してあります。	消防署立会いのもと年2回火災避難訓練や通報訓練、水消火器を使用した消火訓練、夜間想定避難訓練を実施するとともに避難経路を確認している。避難訓練に近隣住民の参加を得ており、一緒に消火訓練を行うなど協力体制を築いている。避難訓練の実施記録を作成するとともに訓練で明らかになった課題を検討している。災害時に備えて米やレトルトカレー、カップラーメン、卓上コンロなどを備蓄しているが、備蓄品リストを作成して賞味期限を管理するまでには至っていない。	備蓄品リストを作成し、在庫や賞味期限を管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	皆さんは一人部屋です。自分のお部屋に洗面台とトイレが完備してありますので一人でゆっくりと使う事が出来ます。ズボンが汚れてしまった方等にはさり気なく声を掛けお部屋で交換して頂いています。作業をしている時に仲間に入れない時には声を掛け「私が助かる」とか「凄く上手」とさり気なく声を掛けたりしています。	職員は入浴介助や食事介助、トイレ介助のほか、利用者に挨拶や言葉かけをする際には一人ひとりの誇りを大切にして、プライバシーを損ねない対応をしている。 職員は利用者が意欲を持って生活ができるよう感謝の言葉を伝えているほか、不適切な対応は職員同士で注意をし合い、利用者の尊厳ある姿を大切にしている。 面会簿や外出届が玄関に置いてあり、来訪者が誰でも閲覧できる状況となっており、プライバシーに配慮するまでには至っていない。	プライバシーに配慮して、外出届の設置場所を見直すほか、面会簿を面会用紙に改めることを期待する。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	基本的に自分の好きな事をして頂いています。編み物が好きな人はそれぞれ自分で色々な物を本等を見ずに作成します。また、インフルエンザ等風邪が流行っていない時に買い物等に行き自分で洋服等を選んで頂いたりしています。その際には予算も決め自分で計算もして頂いたりもしています。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前中、自分が好きな事をして頂いています。裁縫・編み物・ドリル・プラモデル作り・塗り絵・ジグソーパズル等自分がしたい事をして頂いています。施設に来て初めてプラモデルを作り「ここでこんな事が出来るとは思わなかったよ」と喜んでいらっしゃる方もいらっしゃいます。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人にあった洋服を着て頂いています。買い物に行く時に「洋服」「化粧品」等を頼まれる時があります。施設内は女性が多いので施設長の知り合いで化粧品会社の社長さんがいらっしゃいます。今度、その社長さんが「お化粧品」を教えに来てくれる予定です。その他に2ヶ月に1度理容師さんが髪の毛をカットしに来て頂いたりもしています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台所に皆さんも立ちたくなくて困っています。時には仲間通しで喧嘩になる時もあります。喧嘩等のトラブルを防ぐ為に当番を決めたり、その時なにもせずに寂しようにしている利用者さんに声を掛け台所の手伝いをして頂いたりしています。色々と職員も大変です。皆さん台所の後片付け等も手伝って下さいます。特に男性職員が台所に立つと手伝いたい利用者さんが増えます。	食事がより楽しめるよう旬の食材や自家菜園で採れた野菜、地域の人々から頂いた野菜など新鮮な食材を取り入れるとともに、季節が感じられる食事を提供しており利用者の喜びとなっている。 利用者は配膳や下膳、味付けの確認、食器の後片付け、テーブル拭きなどを担っている。 利用者を対象に「男や女の料理教室」を開催しているほか、利用者一人ひとりの能力に合わせてクッキーや蒸しパン、よもぎ団子、ケーキなどのおやつ作りが楽しめるように支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今までは栄養士の資格を持つ職員がいたので相談に乗って頂いていました。季節季節の食べ物を取り入れて栄養バランスが良い物を心がけています。今の季節は特に水分には気を掛けています。お茶の時間は10時・15時・入浴後・食事の際に摂取します。麦茶は台所のカウンターに置いてあり、誰でもすぐに飲めるようにして水分を進んで取らない利用者さんには声を掛けて摂取して頂くようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎晩寝る前に口腔ケアを行っております。義歯の方も義歯をはずすだけではなく口腔内を洗浄して頂いています。夜間義歯はポリデント等に付けて洗浄しています。朝の洗面が終わった時に義歯をお渡しします。食事前のうがいの実施、食後には緑茶を頂きます。うがい（緑茶）の際には職員が見守る中で行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレを誘導する方には「排泄表」を付けています。その際、職員全体で把握できるようにしています。その方により誘導の時間帯等を決めて排泄の支援を行っています。夜間もトイレへ誘導し失禁の無いように自立した生活が出来るように支援しています。	職員は利用者一人ひとりの排泄パターンに合わせて作成した「トイレ誘導時間表」をもとに、決まった時間に声かけやトイレ誘導をしているほか、利用者の様子からサインを察知してトイレ誘導をしている。 職員は利用者がトイレで排泄ができるよう身体機能に応じた支援を心がけ、昼夜問わずおむつを使用しないで生活ができるように支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、便の有無を聞きます。本人は出ていないと言いますがトイレの中を確認すると排便がある時もあります。温度表に排泄表に記入し対応しています。排泄が無い人には下剤を使用したりするだけでは無く、水分を多く取って頂いたりしています。そして、食事では繊維が多い物を心がけ、ヨーグルト等を食べて頂く様にしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は毎日行っています。入浴の順番は毎日のローテーションです。仲の良い利用者さん同士で入浴して頂き毎日の入浴を楽しんで頂いています。その季節に合わせて楽しんで頂いています。たとえば5月には菖蒲を入れたりしています。冬至の時には「ゆず湯」を楽しんでいます。	入浴は毎日実施しており、気の合う利用者が一緒に入浴するなど、寛いで入浴ができるように支援をしているほか、利用者の体調や都合に合わせて、シャワー浴や清拭、足浴の対応をしている。 菖蒲湯や柚子湯を取り入れて、五感を刺激したり季節が感じられるよう工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣が違いますが皆さん夜は21時前にはお休みになります。早い方だと19時頃に眠ってしまう方もいらっしゃいます。皆さん個室でベッドの方もいらっしゃいますし、お布団を自分で敷いて休まれる方もいらっしゃいます。その人その人の生活スタイルを大切にしています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりのファイルに病院で処方していただいた「薬表」を保管してあります。薬の目的・副作用を十分に理解して処方された薬が変更になった時には引継ぎの時に報告しています。服薬の際には職員の目の前で服薬して頂いています。飲み残しが無いように心がけています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	台所仕事が好きな方は料理等の手伝いをお願いしています。施設の庭には畑もあるので畑仕事が好きな方は、耕し、種を蒔き、草取りをして収穫までの指導をお願いして一緒に収穫の楽しみを味わっています。四季の変化を庭の草花で楽しむ事が自分の癒しになっている方もいらっしゃいます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎朝、公園へ全員で散歩に行っています。毎年、秋になると「梨狩り」に行きます。皆さん楽しみにしている行事の一つです。去年の春は全員の利用者さんと一泊旅行へバスで行きました。温泉に入り桜をみたり水族館へ行ったり袋田の滝を観光しました。今年は「葡萄農家」の方と知り合いになれたので葡萄狩りに皆さんで出掛けたいと思っています。地域の人と交流として毎年小学校の運動会を見に行きます。日々の交流を大切にしています。	利用者は職員と一緒に毎日近くの公園を散歩したり、家族等と一緒に外出や外食に出かけている。 職員は外出計画を立てたり、利用者の希望を受けて神社の祭りや小学校の運動会、梨狩り、ドライブ、外食、日用品の買い出し、コンビニエンスストアでの買い物などに出かけられるよう支援し、気分転換やストレス解消、五感への刺激につながるよう取り組んでいる。 今年度は温泉や芝居観賞に出かけられるよう計画を立てている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、所持して自由に使用のお金は公衆電話代の100円～50円位です。無くなった時には施設長の所へ行き補充して頂きます。施設内で300円を持って買い物をした事もあります。施設内でも300円をお渡しして買い物等をした事もあります。みかん・お菓子・飲み物等を購入了ました。レジ係りは職員です。	/	
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	玄関の入り口に「公衆電話」を設置しています。そこで自由に家族に電話をしています。散歩コース中に郵便ポストがあるのでお兄さんに葉書を出したりしていた方がいらっしゃいました。住所は自分で覚えていたようで、戻ってはきませんでした。	/	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎朝、利用者さんと職員で掃除をしています。職員用の1週間の掃除スケジュールもあります。そして施設内は家庭的な雰囲気になっています。個室にもトイレがありますが刺激的な色等は使用せず白を基調としています。リビングには季節の花等を飾ります。庭に咲いている花等を飾ったり、職員が自宅の庭から金木犀等の花を摘んでくれる事もあり皆さんで香りを楽しんでいます。建物の4面にすべて窓があるので夏は風がある時には爽やかな風が抜けていくので冷房が殆ど必要ありません。	共用空間には利用者の手作り作品が飾られているほか、下肢筋力低下予防のためトレーニングマシンを設置したり、ピアノやテレビ、古箏、観葉植物が配置されている。 利用者はソファや畳コーナーを利用してレクリエーションをしたり、利用者同士で会話をしており、共用空間にはゆったりと居心地よく過ごせるように工夫されている。 トイレや浴室は清潔に保たれている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	施設内のリビングは約18坪位あります。そこには9人座れるソファがあります。気の合う仲間とソファに座ってコソコソと話している姿を見かけます。リビングの隣には和室もあり冬にはこたつを出します。お正月にはこたつを囲んでカルタ等をします。一人になりたい方は個室でゆっくりと過ごされています。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所する時にはまず自分で使用していた布団等を持って来ます。これが一番大切だと思うので声を掛けています。家具等は使えるのがある方だけ持ってきて頂いています。使い慣れた針箱・編み棒等。亡き夫の写真を部屋に飾って毎朝、ご飯をお供えする方もいらっしゃいます。	居室は利用者の希望にそってベッドか畳の部屋を選択することができ、入り口には暖簾をかけてプライバシーの確保に努めている。 利用者は居室にテレビや小物入れ、布団、日用品など使い慣れた馴染みの物品を持ち込んでいるほか、毎朝職員と一緒に居室の清掃を行ったり、室内物干しに洗濯物を干すなど、職員は利用者が生活意欲を持ちながら安心して居心地よく暮らせるように支援をしている。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯物を自分で干したり取り込んで畳んだりしてなるべく自分の事は自分で行っています。毎朝、自分の部屋の掃除機をかけトイレも職員の見守りで掃除をしています。自分で出来る事は自分で行ってもらうように心がけています。施設内には畑があるので畑仕事が好きの方は畑の先生になって頂いてもらい種を蒔く時期の相談に乗ってもらっています。	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目標達成計画

事業所名 グループホーム ハイジの丘

作成日 平成24年3月10日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	#	家族等の来訪時や電話連絡時、運営推進会議、家族会等で利用者や家族等の要望や意見を聴き、運営に反映させている。家族会の意見が出易くなるように広報誌を毎月発行し利用者の様子を報告しているが、アンケートを実施するまでには至っていない。	意見等を出し難い家族等に配慮して、意見や不満、苦情等を汲み上げるために、アンケートを実施し出た意見等を運営に反映させる事を期待。	現在、旅行の参加不参加の案内を家族に配布しアンケートを行っております。その際、家族の意見を頂戴しております。なお、1週間の食事内容等も毎月発行している広報誌に時々同封させて頂いております。	夏頃までには、意見等を家族等に配慮し「意見・不満・苦情」を汲み上げるアンケートを実施したいと考えております。(アンケート内容を検討中です)
2	#	ターミナルケアマニュアルは特別養護老人ホームのものを使用していました。事業所独自のマニュアルになっていなかった。	事業所独自の「ターミナルケア」のマニュアルを作成すると共に、全職員に重度化や終末期に向けた対応方針の共有を図る為に、研修を実施する事	独自の「ターミナルケア」のマニュアルは作成し現職員と話し合いを持ちました。	達成済み
3	#	災害時に備えて米やレトルトカレー・カップラーメン・卓上コンロ等を備蓄しているが、備蓄品リストを作成して賞味期限を管理するまでには至っていない。	備蓄品リストを作成し在庫や賞味期限を管理する事。	備蓄品リストを作成し管理を行っております。	達成済み
4	#	面会名簿や外出届が玄関に置いてあり、来訪者が誰でも閲覧できる状況となっており、プライバシーに配慮するまでに至っていない。	プライバシーに配慮して、外出届けの設置場所を見直す他、面会簿を面会用紙に改める事。	「外出届」に関しては記入して頂いた時点で回収を行っておりファイルに閉じています。玄関で管理している訳ではありません。「面会簿」は個別管理を行う事に改善致しました。	達成済み

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。